

AO 入学試験

AO 入試は、日本大学理工学部へ入学を希望されるすべての方に開かれている入試制度です。この入試の特長は、学力試験だけでは計りきれない色々な能力、活動、人物を評価して、可否を判定することです。将来の夢や希望など、目的を持った前向きで意欲的な方、自分自身で問題を見つけ、解決できる力を持った主体性のある方の受験をお待ちしています。

理工学部の AO 入試を受験される方は、志望学科に出願する前に必ず Web からエントリーを行ってください。志望学科への出願については、エントリー後、理工学部の AO 入試担当者との対話をおとして学科への理解を深めてから、決めることができます。

なお、エントリーは複数学科にできますが、Web 登録及び出願は 1 学科のみとなります。

試験は、事前課題の成果発表や質疑応答、自己 PR などを行います。また、選考は各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）（p01 参照）に基づいて行い、時間をかけてさまざまな角度から評価をします。詳しい内容は募集要項を御確認ください。

出願資格

以下のすべてをとともに満たすもの

- ・大学入学資格を有するもの
- ・各学科ごとに指定された出願要件を満たすもの
- ・本学部を第一志望とするもの

出願要件（詳細については募集要項を参照し、注意事項などを必ず確認してください）

志望学科にエントリーし、以下のすべての要件をとともに満たす者

【全学科共通要件】

- ① 志望学科での勉学に強い意欲を持ち、本学部の教育と研究環境を活用して目標を実現する強い意志を有する者
- ② 次の a から d までのいずれか 1 つ以上に該当する者
 - a 学術・文化・芸術・スポーツ分野で積極的に活躍している
 - b 地域社会や高校において積極的に活動している（ボランティア活動や生徒会活動なども含む）
 - c 志望分野に関する勉強・情報収集・研究活動などを継続している（数学や理科などの勉強、クラブ活動やサークル活動なども含む）
 - d 志望分野に関する高い能力・技術を有している（成果発表なども含む）

【学科別要件】

- ① 土木工学科
公共空間デザイン・街づくり・減災・地球環境問題解決などに情熱を有する者（建設業の自営を目指す者及び日本大学全国高等学校土木設計競技に応募した者を含む）
- ② 建築学科
高等学校時代に学術・文化・芸術・スポーツに関わるコンペ、コンクール、イベント（学校行事を除く）、日本大学主催の「日本全国高等学校・建築設計競技」などに参加実績（証明書が必要）がある者
- ③ まちづくり工学科
まちづくりを構成するそれぞれの分野である、まちの景観、観光事業、福祉や健康、都市防災、環境問題に高い関心を有する者
大学在学中もしくは卒業後に一定の実務経験を経て、社会的評価の高い資格（宅地建物取引士、技術士、不動産鑑定士、1・2 級建築士、1・2 級土木施工管理技士、福祉住環境コーディネーター 2 級など）の取得を目指す志のある者
なお将来、自らの出身地等における地域のまちづくりのために貢献しようという意欲の高い者であることが望ましい。
- ④ 精密機械工学科
数学及び理科に強い興味を持つ者
- ⑤ 航空宇宙工学科
次の a, b, c のいずれか 1 つ以上に該当する者
 - a 実用数学技能検定 2 級以上
 - b 実用英語技能検定準 2 級以上
 - c TOEIC® のスコアが 400 以上
- ⑥ 物質応用化学科
化学基礎及び化学の評定がいずれも 4 以上の者（ただし、平成 26 年 3 月以前に高等学校等を卒業した者については、化学 I 及び化学 II の評定がいずれも 4 以上の者）
- ⑦ 物理学科
【全学科共通要件】②の c に該当する受験生は、これまでの活動実績のうち、その一つを AO 入試の自己設定課題とすることができます。これを選択する場合は、出願時に自己設定課題の題目及び概要（1000 字程度）を必ず提出してください。それ以外の場合は、物理学科で課題（学科設定課題）を指定します。
- ⑧ 数学科
数学に強い興味を有し、次の a または b のいずれかを履修している者
 - a 数学 I、数学 II、数学 A、数学 B
 - b 理数数学 I、理数数学 II

※ TOEIC はエデュケーションアルテストングサービスの登録商標です。

平成 30 年度 日程

エントリー期間	7 月 1 日（土）～ 8 月 23 日（水）
Web 登録期間	8 月 14 日（月）～ 23 日（水） ※ Web 登録前にエントリーが必要です。
出願期間	8 月 21 日（月）～ 28 日（月） 場所：理工学部入試事務室（郵送受付）
試験日	10 月 1 日（日） 試験場：駿河台校舎
合格発表	10 月 2 日（月）
手続期間	10 月 3 日（火）～ 17 日（火）

平成 29 年度 志願者数・合格者数・競争率

学 科	志願者数	合格者数	競争率（倍）
● 土 木 工 学 科	51 (7)	47 (6)	1.1
● 交通システム工学科	34 (1)	29 (1)	1.2
● 建 築 学 科	23 (7)	11 (5)	2.1
● 海洋建築工学科	45(17)	29(15)	1.6
● まちづくり工学科	26 (5)	13 (5)	2.0
● 機 械 工 学 科	13 (2)	5 (0)	2.6
● 精密機械工学科	15 (2)	15 (2)	1.0
● 航空宇宙工学科	4 (1)	3 (1)	1.3
● 電 気 工 学 科	16 (1)	14 (1)	1.1
● 電 子 工 学 科	9 (1)	8 (1)	1.1
● 応用情報工学科	16 (2)	13 (2)	1.2
● 物質応用化学科	8 (3)	7 (2)	1.1
● 物 理 学 科	13 (2)	10 (2)	1.3
● 数 学 学 科	22 (4)	13 (2)	1.7
合 計	295(55)	217(45)	1.4

※ () 内は女子内数 ※競争率=志願者数/合格者数

試験当日までの手順及び試験（詳細については募集要項を参照してください）

学科	試験当日までの手順	試験
土木工学科	出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対するレポートを作成して、指定した期限までに提出していただきます。このレポートも評価対象になります。	①レポートに関する質疑 ②口頭試問を含む面接
交通システム 工学科	出願後、9月上旬頃に「課題」を郵送します。この課題について、レポートを作成して、指定した期限までに大学に返送していただきます。 また、試験当日に課題レポートの成果を発表していただきます。	①自己PR ②課題成果の発表 *「自己PR」、「課題成果の発表」には、質疑応答が含まれます。
建築学科	出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対するレポートを作成して、試験当日持参していただきます。このレポートも評価対象になります。	①小論文 ②実技（スケッチあるいは基礎造形） ③口頭試問を含む面接
海洋建築 工学科	出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題についてレポートを作成して、指定した期限までに提出していただきます。さらに、課題の説明に用いる資料を作成し、試験当日に持参していただきます。このレポートと資料は評価対象になり、試験当日にそれらの内容についての試問があります。	①説明資料を用いた課題のプレゼンテーションと課題に関する口頭試問 ②口頭試問を含む面接
まちづくり 工学科	出願後、9月上旬に「まちづくりに関する課題」を郵送します。この課題に対するレポート等を作成して、学科が指定する期限までに提出していただきます。このレポート等も評価対象になります。	①レポート内容に関するプレゼンテーションとそれに対する質疑応答 ②口頭試問を含む面接
機械工学科	受験生は、試験当日までに大学と2往復程度の接触を行います。必要書類の授受は郵便とします。 ■第1回目（9月上旬）：大学から課題の出題と中間レポートの提出期限を連絡します。その後、受験生は、中間レポートを提出期限までに郵送します。 ■第2回目（9月下旬）：大学から中間レポートに対する質問・指導内容を連絡します。また最終レポートの提出期限を連絡します。その後、受験生は、最終レポートを提出期限までに郵送します。	口頭試問を含む面接 *「口頭試問」には、提出課題の内容及び機械工学を学ぶために必要な基礎学力（数学・理科（物理）・英語）の到達度に関する試問が含まれます。 また、ものづくりに関する当日課題が課される場合もあります。
精密機械 工学科	9月上旬に大学から調査研究課題、その報告書に対する指示、提出期限などを受験生に郵送します。受験生は、課題について調査研究し、考えをまとめた報告書を指定された提出期限までに大学へ返送することになります。	①生活・活動など一般的事項についての質問 ②課題に関する短時間での発表と関連した質問（説明資料持参可） ③数学・理科に関する基礎的な事項についての質問
航空宇宙 工学科	9月上旬に、「課題」及び「提出期限」などを受験生に郵送でお知らせします。受験生は、この課題に関する報告書を作成して、指定された提出期限（9月下旬）までに大学に返送します。更に、課題のプレゼンテーションに用いるポスターを作成し、試験当日に持参していただきます。	①課題のプレゼンテーションと課題に関する口頭試問 ②基礎的な数学・理科（物理）に関する口頭試問
電気工学科	受験生は、9月16日（土）の学科説明会に出席していただきます。必要書類の授受は郵便とします。 ① 大学が行うこと （1） 学科紹介 （2） 試験日までの課題の提示 （3） 過去の課題に対する解説 ② 受験生が行うこと （1） 学科紹介を聞いたあとの感想文の提出 （2） 課題に対する質問	①当日課題（数学に関する基礎的な問題を英語で出題。辞書、教科書の持込み可） ②口頭試問を含む面接
電子工学科	出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対する報告書を作成して、指定した期限までに提出していただきます。この報告書は評価対象となります。	①課題に関する口頭試問 ②口頭試問を含む面接 *項目②の「口頭試問」では、数学・理科（物理）・英語についての基礎的な質問をします。
応用情報 工学科	9月上旬に、受験生に「課題」を郵送します。受験生は、この課題に対する報告書を作成して、指定された期限（9月下旬）までに大学に返送します。この報告書も評価の対象とします。	①課題に関する口頭試問 ②口頭試問を含む面接 *項目②の「口頭試問」では、数学・理科（物理）・英語に関する基礎的な質問をします。
物質応用化学 工学科	受験生は、試験当日までに大学と2往復程度の接触を行います。必要書類の授受は郵便とします。 ■第1回目（9月上旬）：大学（①出願書類内容に対する質問、②課題の出題と中間報告期限指定） →受験生（質問に対する回答、課題中間報告の提出） ■第2回目（9月下旬）：大学（課題中間報告に対する質問・指導と報告期限指定） →受験生（課題報告の提出）	①小論文 ②口頭試問を含む面接 *項目②の「口頭試問」では、化学に関する基礎的な質問をします。
物理学科	受験生は、試験当日までに大学と以下のやり取りを行います。必要書類の授受は郵便または持参とします。 ■第1回目（9月上旬）：大学（課題の出題）→受験生（報告書の提出） ■第2回目（9月下旬）：大学（報告書に対する質問・指導）→受験生 ■試験当日 受験生（報告書及び第2回目の質問・指導に対する回答を持参）→大学	報告書の内容（大学からの質問・指導等も含む）についての質疑応答と、数学と理科（物理）の基礎的な試問を中心とした面接 *数学の範囲は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（確率分布と統計的な推測を除く） *自分にあった課題（学科設定課題・自己設定課題のいずれか）で受験してください。
数学科	受験生は、大学から数学の課題を受け取り、それに答えて、指定の期限までに返却してもらいます。課題は、高校での履修の有無にかかわらず、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bから出題します。課題の発送は9月上旬となります。回答方法、期限などは課題発送時にお知らせします。	①課題に関連した問題についての記述式試問（出題範囲には数学Ⅲも含む） ②面接 *「面接」には、①の記述式試問の解答に関する口頭試問が含まれます。